

鋁工業指数参考図表集  
(平成30年5月速報)

平成30年6月29日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成30年5月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

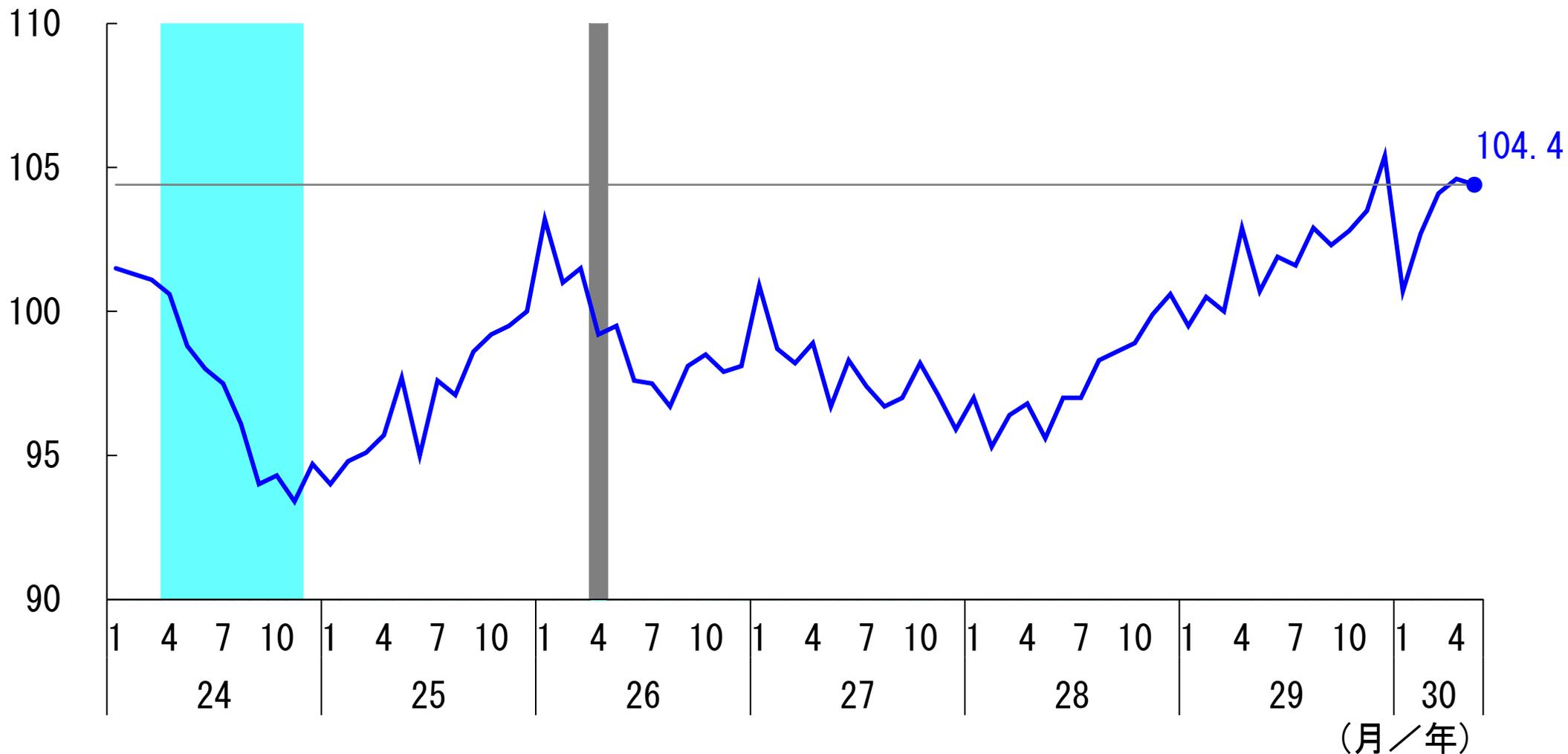
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	104.4	101.4	113.5	114.0
前月比	-0.2%	-1.6%	0.6%	0.2%
指数水準	H30.3 104.1以来  ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H30.2 100.3以来  ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H30.3 113.5以来 (超)H28.3 114.2以来  I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H30.3 117.1以来  I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	4か月ぶり- (H30.1以来)	4か月ぶり- (H30.1以来)	2か月ぶり+ (H30.3以来)	2か月ぶり+ (H30.3以来)
前月比幅	H30.1 -4.5%以来  ①H23.3 -16.5% ②H21.1 -8.8% ③H21.2 -8.6%	H30.1 -4.5%以来  ①H23.3 -15.7% ②H21.1 -9.5% ③H20.12 -7.1%	H30.3 3.3%以来  I H23.5 4.7% II H30.3 3.3% III H29.10 2.9%	H30.3 2.7%以来  I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	4.2%	3.2%	2.5%	2.1%
前年同月比の動き	19か月連続+ (H28.11~当月)	19か月連続+ (H28.11~当月)	8か月連続+ (H29.10~当月)	8か月連続+ (H29.10~当月)
前年同月比幅	H29.12 4.5%以来  I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H30.4 3.6%以来  I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H30.3 3.9%以来  I H24.3,4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H30.3 5.5%以来  I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

1) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鋳工業生産指数の動向

- ・平成30年5月の鋳工業生産指数は、104.4(前月比-0.2%)と4か月ぶりの低下。
- ・平成30年3月の104.1以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。  
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。  
 3. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。



# 平成30年5月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	3.4%	147.4%
	品目	集積回路	4.7%	90.0%
		電子部品	1.6%	31.1%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	0.5%	44.6%
	品目	計測機器	14.3%	77.7%
		風水力機械・油圧機器	9.2%	58.9%
	3位の業種	情報通信機械工業	3.8%	43.1%
	品目	電子計算機	13.9%	69.5%
民生用電子機械		0.8%	2.5%	
鉱工業生産を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	-6.9%	-745.8%
	品目	乗用車	-11.8%	-507.9%
		自動車部品	-5.6%	-221.5%
	2位の業種	鉄鋼業	-1.9%	-37.2%
	品目	熱間圧延鋼材	-3.0%	-16.6%
		冷間仕上鋼材	-4.3%	-10.0%
	3位の業種	電気機械工業	-1.0%	-33.4%
	品目	回転電気機械	-3.2%	-20.9%
開閉制御装置・機器		-1.4%	-9.8%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 平成30年5月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

## <全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	集積回路	4.7%	90.0%
	2位	計測機器	14.3%	77.7%
	3位	電子計算機	13.9%	69.5%
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	乗用車	-11.8%	-507.9%
	2位	自動車部品	-5.6%	-221.5%
	3位	半導体・フラットパネル製造装置	-8.9%	-116.4%

## <財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.7%	117.8%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	10.5%	69.9%
		固定コンデンサ	14.5%	33.5%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	1.2%	58.0%
		乳液	34.5%	29.7%
		合成洗剤	10.5%	23.4%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.0%	0.0%
		システムキッチン	5.0%	4.1%
		鋼管製管継手	6.9%	3.3%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-1.1%	-65.0%
		半導体製造装置	-8.5%	-56.1%
		マシニングセンタ	-18.4%	-43.2%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-7.3%	-266.9%
		普通乗用車	-14.5%	-274.3%
		軽乗用車	-5.6%	-14.4%

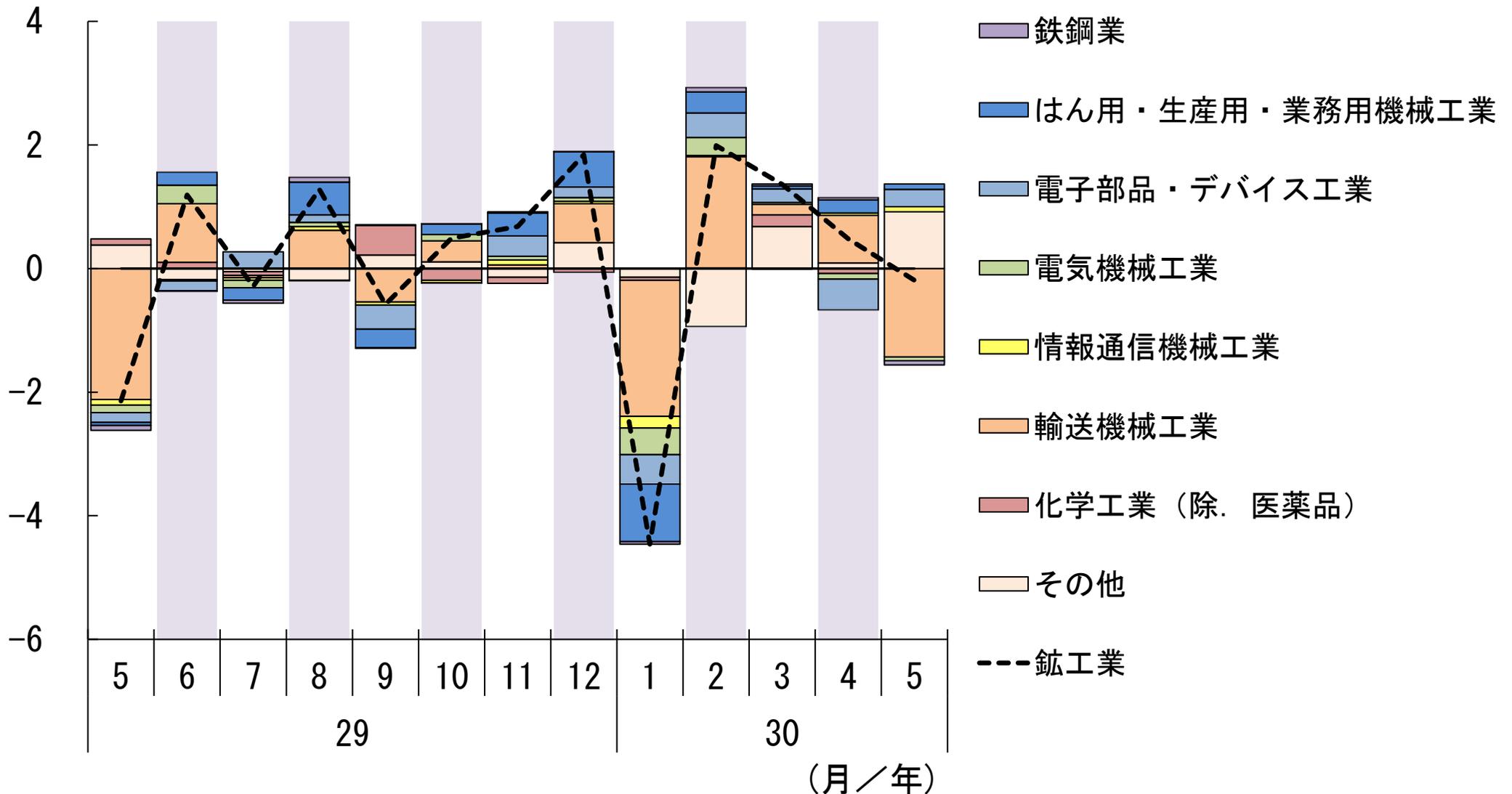
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成30年5月の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下したため、前月比-0.2%の低下。

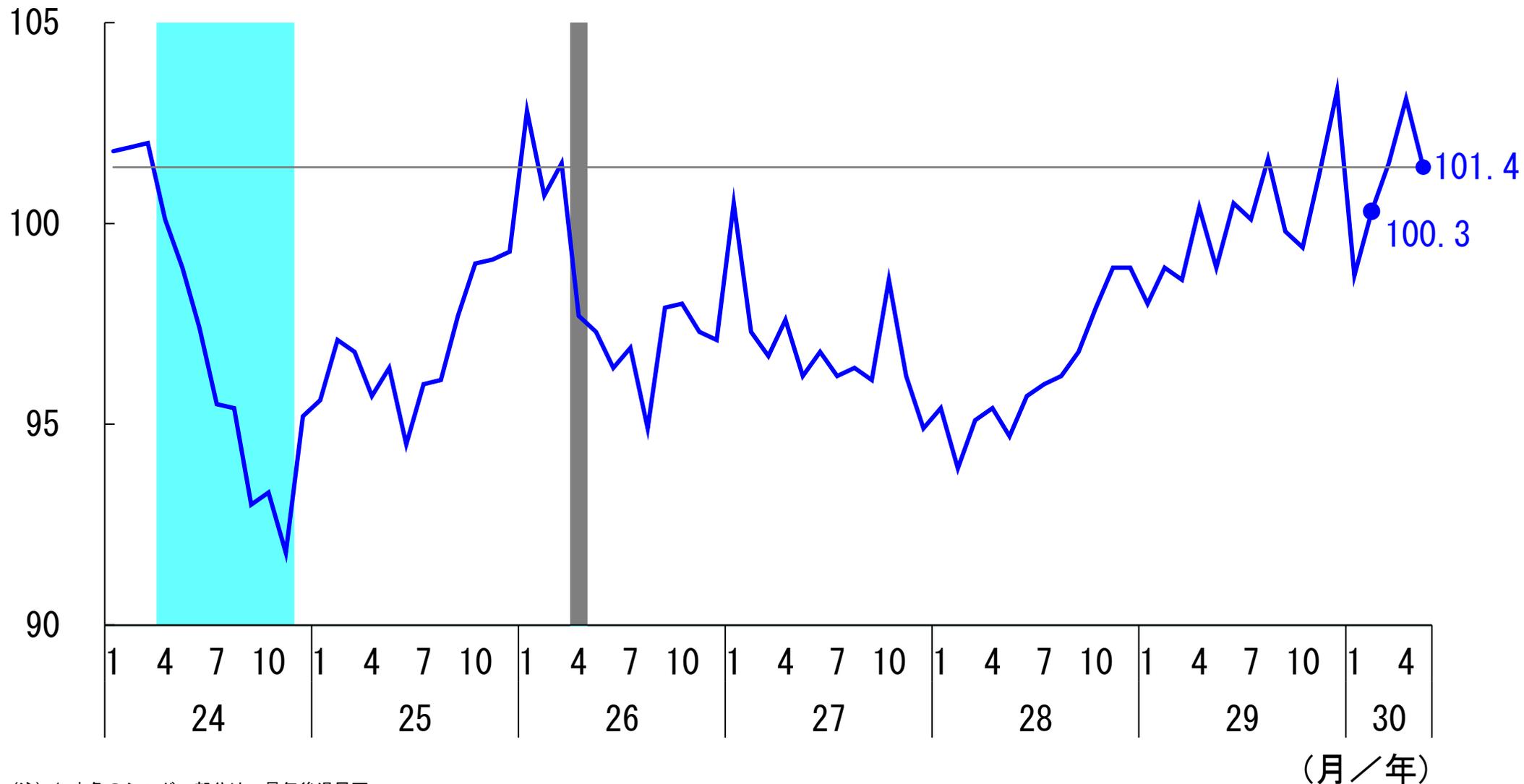
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 鋳工業出荷指数の動向

- ・平成30年5月の鋳工業出荷指数は、101.4(前月比-1.6%)と4か月ぶりの低下。
- ・平成30年2月の100.3以来の指数水準。

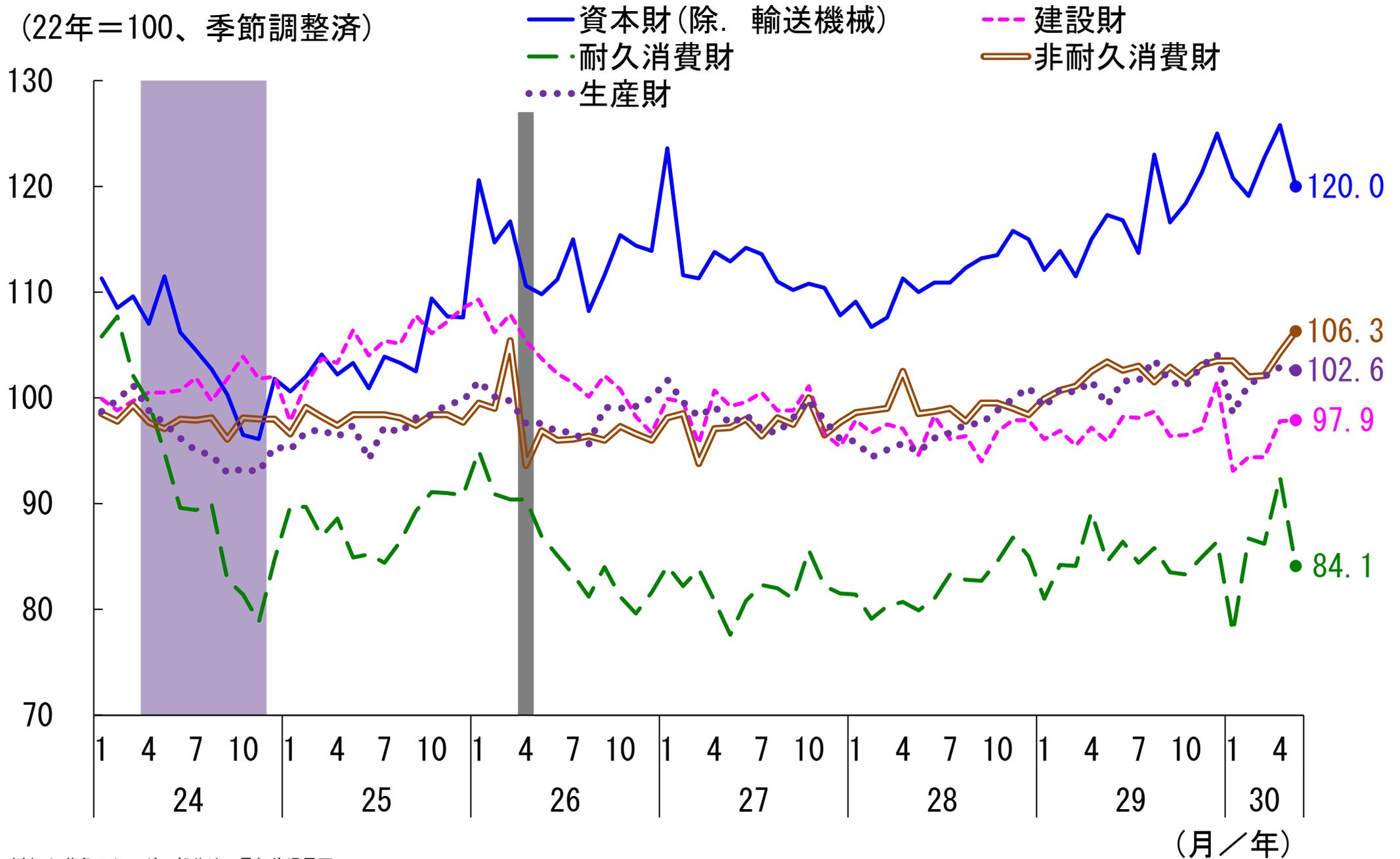
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。  
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

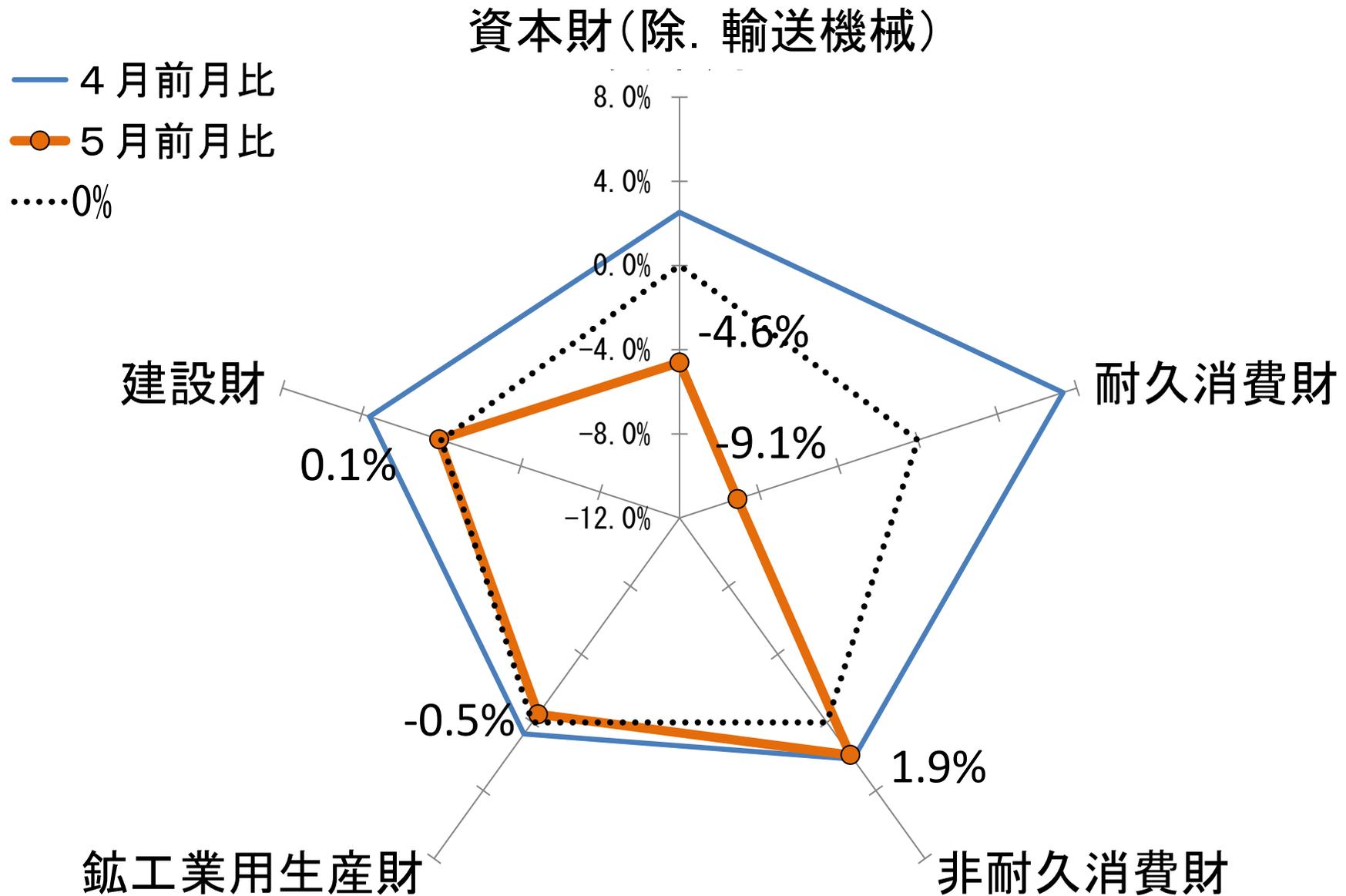
# 財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 紫色のシャドー部分は、景気後退局面。  
2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

# 財別出荷指数の前月比比較（平成30年4月、5月）



# 平成30年5月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

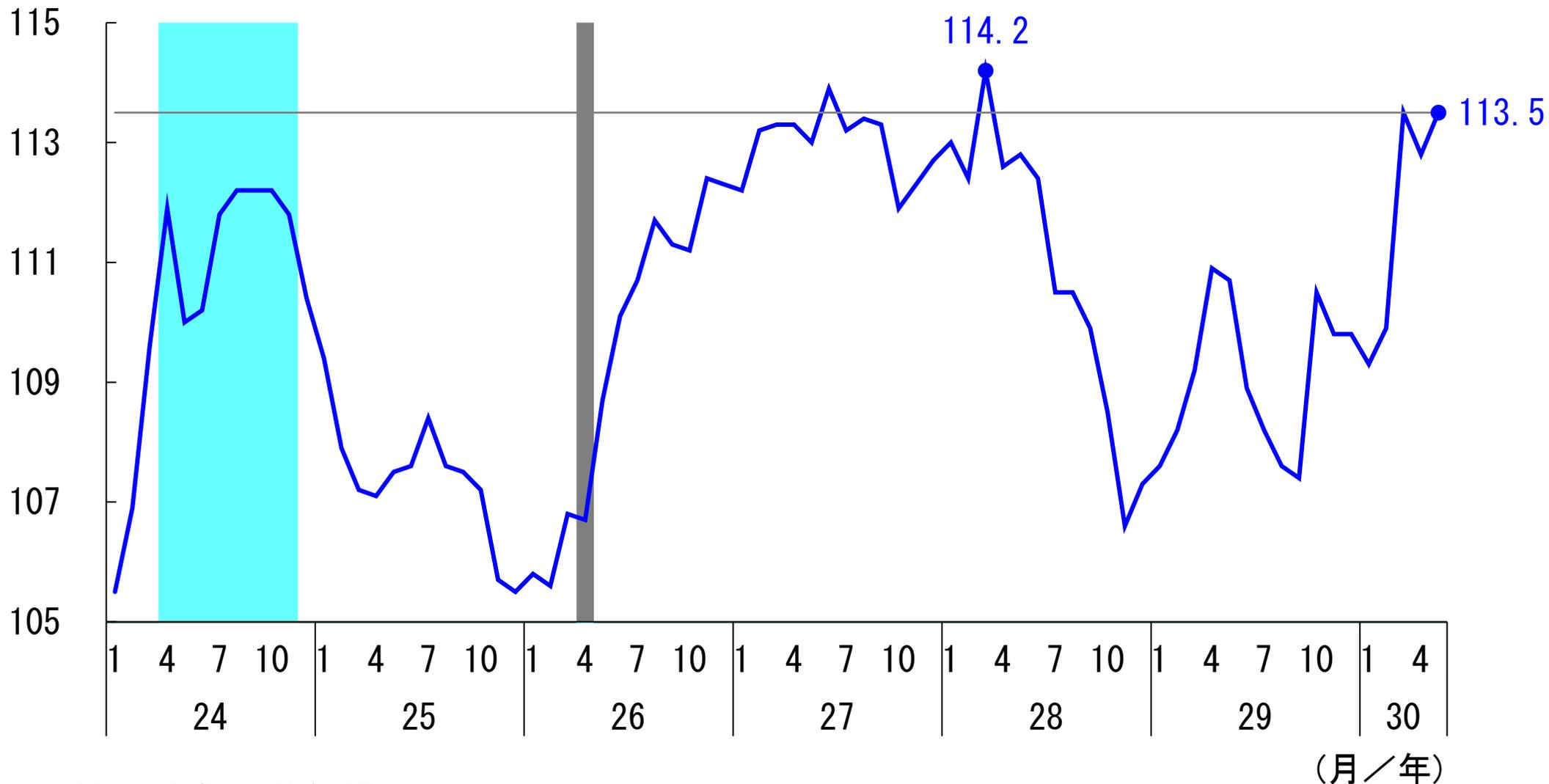
	解説	品目名	前月比	寄与率
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	<b>耐久消費財</b>	<b>-9.1%</b>	<b>-75.3%</b>
		普通乗用車	-13.1%	-59.2%
		小型乗用車	-6.5%	-7.1%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	<b>資本財(除. 輸送機械)</b>	<b>-4.6%</b>	<b>-40.2%</b>
		マシニングセンタ	-27.3%	-10.3%
		半導体製造装置	-8.7%	-7.9%
生産財	原材料として投入される製品	<b>生産財</b>	<b>-0.3%</b>	<b>-8.9%</b>
		自動車用エンジン	-11.0%	-11.9%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	-11.3%	-11.1%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	<b>建設財</b>	<b>0.1%</b>	<b>0.3%</b>
		ガス風呂がま	6.5%	0.6%
		H形鋼	4.3%	0.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	<b>非耐久消費財</b>	<b>1.9%</b>	<b>13.7%</b>
		乳液	27.7%	2.4%
		柔軟仕上げ剤	26.2%	2.2%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

# 鋳工業在庫指数の動向

- ・平成30年5月の在庫指数は、113.5(前月比0.6%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成28年3月の114.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

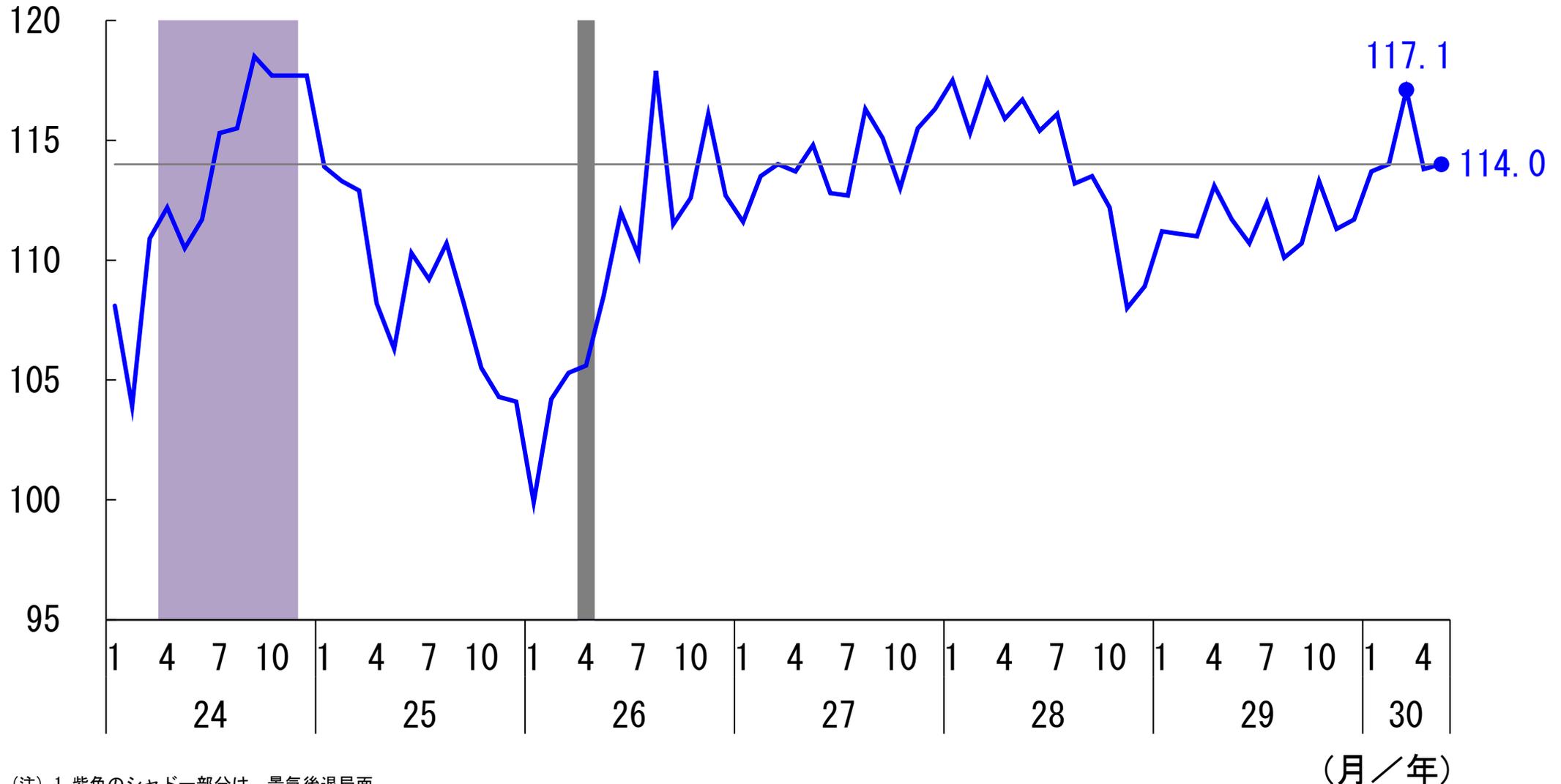


(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。  
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

# 鋳工業在庫率指数の動向

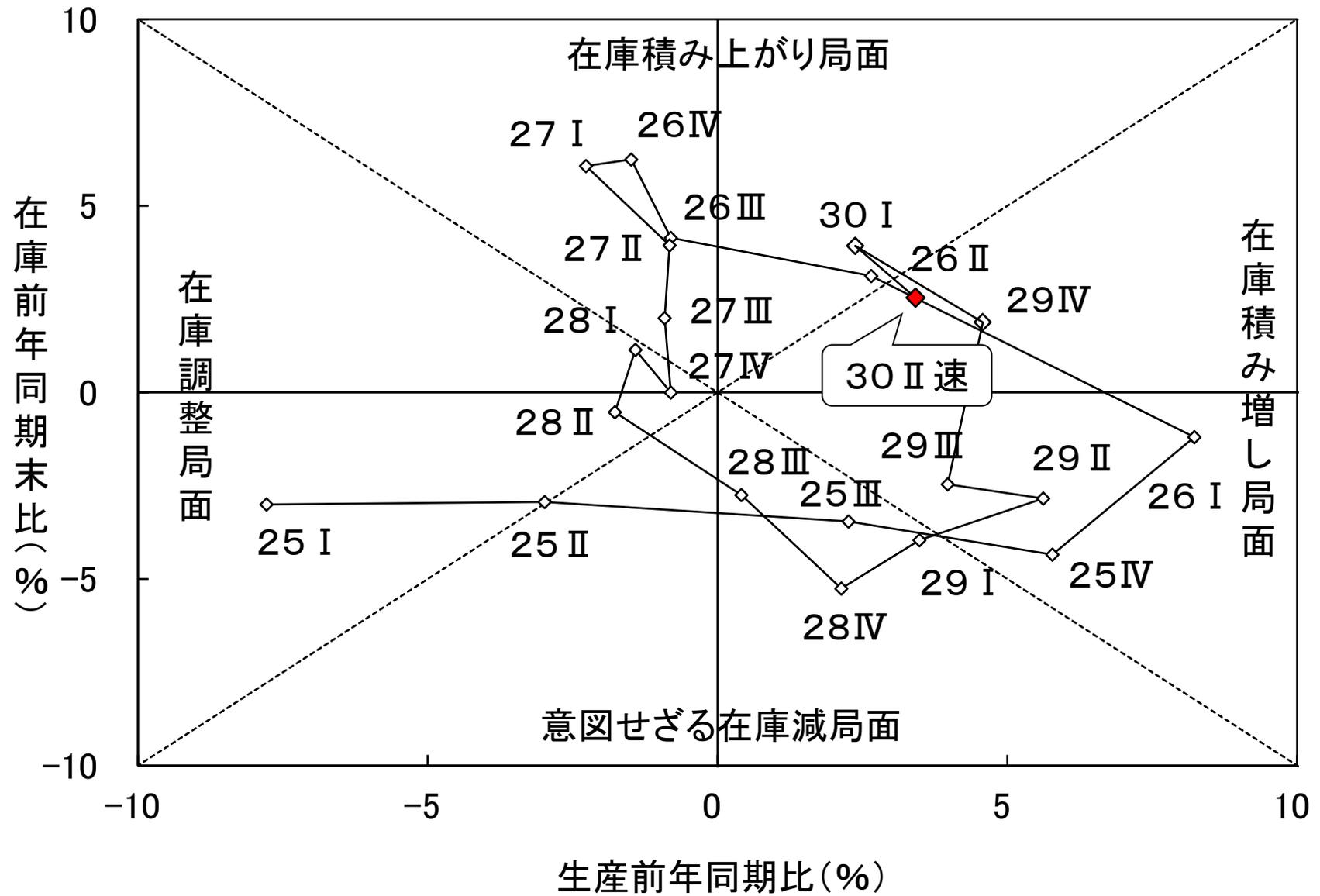
- ・平成30年5月の在庫率指数は、114.0(前月比0.2%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成30年3月の117.1以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 紫色のシャドー部分は、景気後退局面。  
2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

# 鋁工業の在庫循環図



(注) 「30 II 速」の生産は4、5月の平均値、在庫は5月末の値を使用。

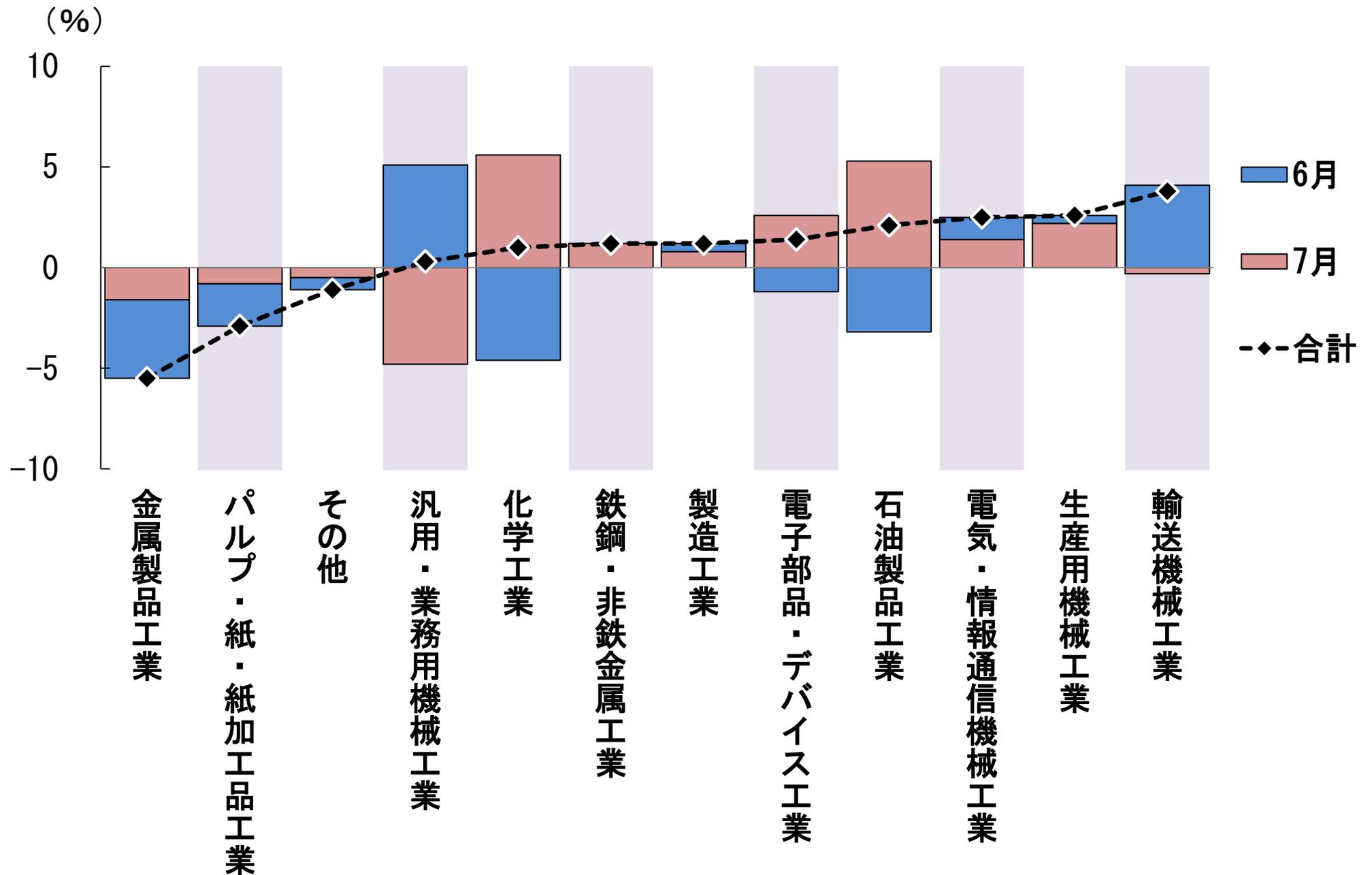
## 製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	平成30年6月見込み	平成30年7月見込み
平成30年6月調査(今回)	0.4%	0.8%
平成30年5月調査(前回)	-0.8%	

## 製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
6月前月比	-0.1% (-1.1%~0.9%)	0.4%

## 2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



# 平成30年6月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	4.1%
汎用・業務用機械工業	5.1%
電気・情報通信機械工業	1.1%
生産用機械工業	0.4%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-3.2%

低下寄与業種	計画前月比
その他	-0.6%
パルプ・紙・紙加工品工業	-2.1%
電子部品・デバイス工業	-1.2%
金属製品工業	-3.9%
化学工業	-4.6%

※鉄鋼・非鉄金属工業は計画前月比横ばい

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

# 平成30年7月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	5.6%
生産用機械工業	2.2%
電子部品・デバイス工業	2.6%
電気・情報通信機械工業	1.4%
鉄鋼・非鉄金属工業	1.2%
石油製品工業	5.3%

低下寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	-0.8%
その他	-0.5%
輸送機械工業	-0.3%
金属製品工業	-1.6%
汎用・業務用機械工業	-4.8%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

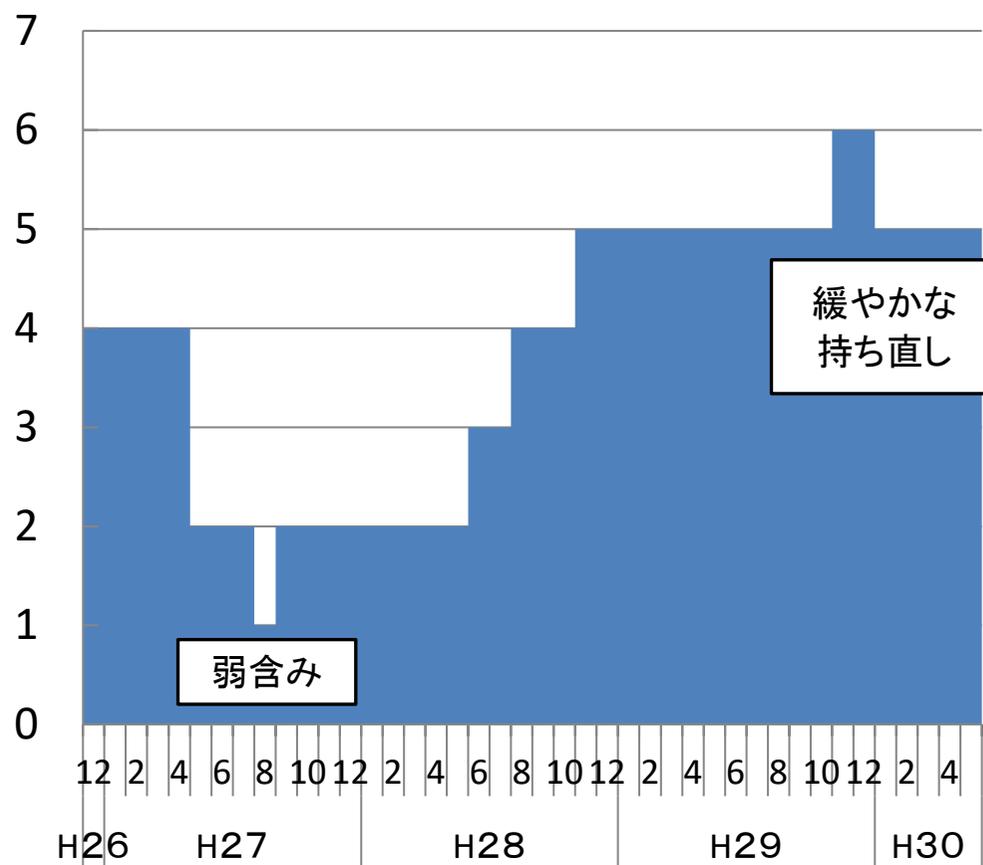
# 平成30年5月の鉱工業生産の基調判断

## 「生産は緩やかな持ち直し」

### 基調判断の推移

- ・平成27年5月～7月  
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月  
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月  
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月  
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～平成29年10月  
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成29年11月～平成29年12月  
「生産は持ち直している」
- ・平成30年1月～  
「生産は緩やかな持ち直し」

### 基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。